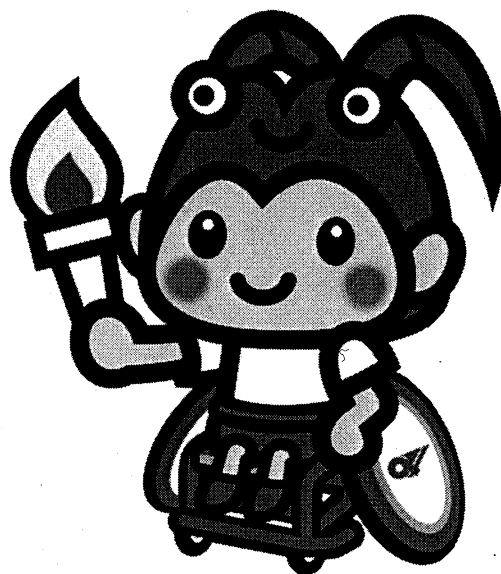


三重県競技力向上対策本部

第22回競技力向上対策委員会



令和6年12月3日（火）

スポーツガーデン Mie Spo Inn 会議室

三重県競技力向上対策本部

第22回競技力向上対策委員会 資料目次

○ 三重県競技力向上対策本部第22回競技力向上対策委員会 会議次第	P 3
○ 説明・報告事項	
(1) 委員の変更	P 7
(2) 三重県競技力向上対策本部会議等に係る開催経過	P 8
(3) 令和6年度競技力向上対策事業に係る進捗状況	P 12
(4) 第78回国民スポーツ大会に係る総合成績	P 13
(5) 第21回競技力向上対策委員会の概要	P 18
○ 協議事項	
(1) 令和8年度までの競技力向上に係る取組等について	P 22
(2) パラアスリートの強化について	P 28
○ 参考資料	
・ 三重県競技力向上対策委員会規程	P 66

三重県競技力向上対策本部
第 2 2 回競技力向上対策委員会 会議次第

令和 6 年 1 2 月 3 日（火）

スポーツガーデン Mie Spo Inn 会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 説明・報告事項

- (1) 委員の変更
- (2) 三重県競技力向上対策本部会議等に係る開催経過
- (3) 令和 6 年度競技力向上対策事業に係る進捗状況の報告及び成果
- (4) 第 7 8 回国民スポーツ大会に係る総合成績
- (5) 第 2 1 回競技力向上対策委員会の概要

4 協議事項

- (1) 令和 8 年度までの競技力向上に係る取組等について
- (2) パラアスリートの強化について

5 閉 会

説明・報告事項

三重県競技力向上対策本部 競技力向上対策委員会

(委員長：1名、副委員長：1名、委員：19名、計：21名)

【委員長：1名】敬称略

選出区分	所属機関・団体・役職名	名前
県関係	三重県地域連携・交通部スポーツ推進局長	藤本 典夫

【副委員長：1名】敬称略

選出区分	所属機関・団体・役職名	名前
学校・スポーツ 団体関係	公益財団法人三重県スポーツ協会副会長	村木 輝行

【委員：19名】敬称略、順不同

選出区分	所属機関・団体・役職名	名前
県関係	三重県教育委員会事務局次長	坂井 哲
市町関係	四日市市シティプロモーション部参事兼スポーツ課長	内糸 豊
	明和町参事兼総務課長	朝倉 正浩
産業・経済関係	株式会社エクセディ上級執行役員グローバル人材開発本部長	山村 佳弘
	株式会社デンソー大安製作所長	岡本 孝文
	本田技研工業株式会社鈴鹿製作所 コーポレート管理本部 人事統括部 四輪・電動総務部鈴鹿総務課長	中島 秀明
	相好株式会社代表取締役	山本 将之
	住友電装株式会社総務部長	木下 勝善
学校・スポーツ 団体関係	公益財団法人三重県スポーツ協会強化・普及委員会委員長	藪内 弘志
	三重県中学校体育連盟会長	奥山 真司
	三重県高等学校体育連盟会長	嶋田 和彦
	伊賀FCくノ一三重サテライトU15監督	那須麻衣子
	県立津工業高等学校ヨット部顧問	伊藤 秀郎
	株式会社ヴィアティン三重ファミリークラブ常務取締役	椎葉 誠
	中京大学スポーツ科学部競技スポーツ科学科准教授	草薙 健太
	三重高等学校女子ソフトテニス部顧問	村田真紀乃
	三重県障がい者スポーツ協会事務局長	増井 克充
学識経験	社会医療法人峰和会鈴鹿回生病院整形外科・リハビリテーション科部長 スポーツ医学センター長	福田 亜紀
	日本体育大学体育学部教授	杉田 正明

三重県競技力向上対策本部会議等に係る開催経過

年月日	内 容
平成23年 11月15日	県、県教育委員会、財団法人三重県体育協会の連名により、文部科学省、公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出しました。
平成24年 1月11日	公益財団法人日本体育協会理事会にて、平成33年第76回国民体育大会の開催地として内々定されました。
平成25年 5月29日	三重県競技力向上対策本部「設立会議」、「第1回本部会議」を開催しました。
6月 3日	三重県競技力向上対策本部「第1回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第1回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
12月13日	三重県競技力向上対策本部「第1回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
12月16日	三重県競技力向上対策本部「第1回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
平成26年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第2回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月22日	三重県競技力向上対策本部「第2回本部会議」を開催しました。
10月 1日	三重県競技力向上対策本部「第3回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月13日	三重県競技力向上対策本部「第2回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第2回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第2回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
平成27年 3月19日	三重県競技力向上対策本部「第4回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月23日	三重県競技力向上対策本部「第3回本部会議」を開催しました。

9月 4日	三重県競技力向上対策本部「第5回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月4日	三重県競技力向上対策本部「第3回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第3回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月25日	三重県競技力向上対策本部「第3回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
平成28年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第6回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月18日	三重県競技力向上対策本部「第4回本部会議」を開催しました。
7月20日	公益財団法人日本体育協会理事会にて、平成33年第76回国民体育大会の開催地として内定されました。
9月14日	三重県競技力向上対策本部「第7回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第4回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第4回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月22日	三重県競技力向上対策本部「第4回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
平成29年 3月23日	三重県競技力向上対策本部「第8回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月18日	三重県競技力向上対策本部「第5回本部会議」を開催しました。
10月30日	三重県競技力向上対策本部「第5回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
10月31日	三重県競技力向上対策本部「第5回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
10月31日	三重県競技力向上対策本部「第5回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月20日	三重県競技力向上対策本部「第9回競技力向上対策委員会」を開催しました。

平成30年 3月14日	三重県競技力向上対策本部「第10回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月16日	三重県競技力向上対策本部「第6回本部会議」を開催しました。
7月18日	公益財団法人日本スポーツ協会理事会にて、2021年第76回国民体育大会の開催地として正式に決定されました。
10月23日	三重県競技力向上対策本部「第6回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
10月30日	三重県競技力向上対策本部「第6回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
10月31日	三重県競技力向上対策本部「第6回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第11回競技力向上対策委員会」を開催しました。
平成31年 3月18日	三重県競技力向上対策本部「第12回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月16日	三重県競技力向上対策本部「第7回本部会議」を開催しました。
令和元年 10月28日	三重県競技力向上対策本部「第7回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
10月30日	三重県競技力向上対策本部「第7回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月 1日	三重県競技力向上対策本部「第7回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月21日	三重県競技力向上対策本部「第13回競技力向上対策委員会」を開催しました。
令和2年 2月20日	三重県競技力向上対策本部「第14回競技力向上対策委員会」を開催しました。
6月 1日	三重県競技力向上対策本部「第8回本部会議」を開催しました。
令和3年 3月18日	三重県競技力向上対策本部「第15回競技力向上対策委員会」を開催しました。
6月 1日	三重県競技力向上対策本部「第9回本部会議」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第16回競技力向上対策委員会」を開催しました。

令和4年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第17回競技力向上対策委員会」を開催しました。
6月20日	三重県競技力向上対策本部「第10回本部会議」を開催しました。
11月15日	三重県競技力向上対策本部「第18回競技力向上対策委員会」を開催しました。
令和5年 3月20日	三重県競技力向上対策本部「第19回競技力向上対策委員会」を開催しました。
6月28日	三重県競技力向上対策本部「第11回本部会議」を開催しました。
11月27日	三重県競技力向上対策本部「第20回競技力向上対策委員会」を開催しました。
令和6年 3月21日	三重県競技力向上対策本部「第21回競技力向上対策委員会」を開催しました。
6月28日	三重県競技力向上対策本部「第12回本部会議」を開催しました。
7月18日	県、県教育委員会、公益財団法人三重県スポーツ協会の連名により、文部科学省、公益財団法人日本スポーツ協会に開催要望書を提出しました。
8月20日	公益財団法人日本スポーツ協会国民スポーツ大会委員会にて、令和17年第89回国民スポーツ大会の開催申請書提出順序了解県として承認（開催内々定）されました。

令和6年度競技力向上対策事業に係る進捗状況について

	事業名	対象	取組内容	進捗状況とこれまでの成果
①	チームみえジュニア育成事業	ジュニア・少年選手	全国大会等で活躍が期待できるジュニア選手(小学生・中学生)を「チームみえジュニア」として指定し、その育成・強化を目指した活動を支援するとともに、スポーツ体験会による新たなジュニア選手の発掘を支援することで長期的で持続可能な競技力の向上を図る。	チームみえジュニア選手として718名を指定し、指定証の交付を行った。スポーツ体験会の案内を7月と12月に県内全小・中学校に配布(予定)し、夏は16競技、冬は10競技で選手発掘を行った。
②	ジュニアクラブ・運動部強化指定事業		今後の国民スポーツ大会等において、少年種別の中心となる選手の育成・強化を目指し、その強化活動を支援し、競技力の向上を図る。	16のジュニアクラブ・運動部を強化指定した。全国レベルの大会におけるジュニア選手(小・中学生)の入賞は32件であった。(内優勝5件)
③	高等学校運動部強化指定事業		国民スポーツ大会等の全国・国際スポーツ競技大会において活躍するトップアスリートの育成を目指して、育成・強化の中心となることが期待できる高等学校運動部を指定し、強化活動を支援することで、高校生アスリートの競技力向上を図る。	32校56部を強化指定した。全国高等学校総合体育大会における入賞は46件、佐賀国スポにおける少年種別の入賞は38件あった。
④	チームみえスーパージュニア強化指定事業		全国・国際スポーツ大会等で活躍する中・高校生選手を強化指定し、合宿や強化練習等の支援を行うことで、本県への帰属意識を高めるとともに、将来、国民スポーツ大会やオリンピック等の大規模な大会で活躍が期待できるジュニア選手の育成・強化を図る。	33名の中学生・高校生・高等専門学校生を強化指定した。全国高等学校総合体育大会や全国中学校総合体育大会等の全国レベルの大会における指定選手の入賞は87件であった。
⑤	三重県アスリートタレント発掘・育成事業(MIEスーパー☆プロジェクト)		優れた資質を有する小中学生を発掘し、様々なプログラムを通じて育成することで、国民スポーツ大会をはじめとした国内大会やオリンピック、ワールドカップなどの国際大会において活躍することができるアスリートの輩出をめざす。また、トップアスリートに必要な資質である高い意識や行動力を培うことで、社会生活の様々な場面でリーダーとして活躍できる人材として育成を図る。	これまでに発掘した6～8期生において、合計25名を育成している。9期生の募集を行い、男女27名の応募があった。11月4日(月)にオーディションを実施した。
⑥	トップアスリート応援事業		国民スポーツ大会をはじめとする全国大会で活躍するという強い意志を持って、三重県内の高等学校に入学した少年選手に対し給付金を支援することで、安定した強化活動を支える。	今年度の認定数は18名(令和4年度9名、令和5年度9名)である。全国高等学校総合体育大会等の全国レベルの大会における認定選手の入賞は20件あった。
⑦	チームみえ国スポ選手強化事業	少年・成年選手共通	佐賀国スポにおいて10位台前半を獲得するため、活躍が期待できる本県代表選手(チームみえ)に対し、重点的な強化に取り組む。	令和6年の佐賀国スポに向けて、各競技団体に対するヒアリングに基づき精査した強化費の配分を行うとともに、東海ブロック大会を突破した競技種別については、必要に応じて強化費の追加配分を行った。目標としていた10位台前半である天皇杯14位を獲得することができた。
⑧	女性アスリートサポート事業		女性アスリートが競技を継続して取り組めるよう、女性特有の諸課題について、女性アスリート、指導者及び保護者など関係者が知識習得や意識向上を図ることで、サポート体制の構築を図る。	研修会を1月と2月に計2回行い、女性アスリート特有の諸課題についてサポートを行う予定である。
⑨	オリンピック等選手強化指定事業		全国・国際スポーツ大会等で活躍するトップアスリートを強化指定し、合宿や強化練習等の支援を行うことで、本県への帰属意識を高めるとともに、オリンピック及び国民体育大会に向けた成年選手の競技力向上を推進する。	9名を強化指定した。佐賀国スポには、レスリング競技、自転車競技、フェンシング競技、ライフル競技の4名の選手が出場し、入賞は1件であった。
⑩	パラリンピック等選手強化指定事業		パラリンピック・デフリンピックをはじめとする全国・国際スポーツ大会での活躍を目指して強化活動に取り組んでいる本県の選手を指定し、その活動を支援することで、更なる競技力の向上を図る。	13名を強化指定した。対策本部が目標とした国際大会及び全国大会における指定選手の入賞は41件であった(世界新記録1件を含む)。パリ2024/パラリンピック競技大会に4名、世界パラ競技大会に3名が出場し、パラリンピック陸上競技男子400mで銅メダル獲得、100m7位、女子走幅跳で6位入賞の結果を残した。
⑪	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	成年選手	国民スポーツ大会や全日本選手権及び日本リーグ等で、三重県を代表するチームとして活躍が期待できるチームを指定し、成年選手の重点的な競技力向上を図る。	18のチームを強化指定した。佐賀国スポにおける入賞は7チーム10件(1件の優勝含む)であった。
⑫	トップアスリート就職支援事業		全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートまたはその指導者に対し、県内企業等への就職支援を行い、社業と競技活動の両立を図りやすい環境を整備することで、国民スポーツ大会をはじめとする全国大会等で安定した競技力を確保する。	企業等を訪問し、トップアスリートの雇用の実績、メリットおよび現状を説明した。令和7年4月1日採用予定のトップアスリートは現在7名である。
⑬	スポーツ指導員配置事業	指導者	全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートまたはその指導者を競技団体が実施する強化練習や合宿に派遣することで、本県選手の競技力向上を図るとともに、トップアスリート等として国民スポーツ大会の成年種別の競技得点を獲得をめざす。	26名を配置している。佐賀国スポで16名が入賞し、171点(団体競技を含む)を獲得した。男女総合成績14位という結果に大きく貢献した。
⑭	チームみえトップ指導者養成事業		今後の国民スポーツ大会等において安定的な競技力を確保するために、各年齢カテゴリーにおけるトップ指導者の養成を図るとともに、その指導を面的に支える指導体制の構築を図る。また、各カテゴリーを超えた指導者が幅広く交流し、チームみえとしての一体感を醸成するとともに、一貫的な指導体系を構築し、指導力と資質の向上を図る。	「指導者養成講座」については、成年からジュニアまでの指導者である4期生24名を新たに迎えるとともに、2年間のコーチデベロッパー養成を修了した1～3期生にもファシリテーターとして参画いただきながら、指導者養成を引き続き実施している。6月に指導者養成Ⅰ、11月には指導者養成Ⅱを実施した。今後3月に指導者養成Ⅲの開催を予定している。「マルチサポートシステム」については、サポートスタッフを派遣し、効果的な指導体制を整備して、指導者の資質向上を図るとともに、競技力の向上を進めている。「みえコーチングコミュニティ」については、毎月News Letterを発行するとともに、グループLINEを活用した相互の情報交換や最新の情報共有を進め、意識向上を図っている。デベロッパー23名のうちSAGA国スポでの入賞は12件あった。
⑮	競技用具等整備事業	環境整備	国民スポーツ大会や全国大会等において、安定した競技力を確保するため、強化活動に必要な競技用具等を整備する。	ローイング、セーリング、カヌー、ライフル射撃、自転車、アイスホッケー競技について、各競技団体に競技用具等の無償貸与を行った。この競技における佐賀国スポでの入賞は20件であった。

※入賞件数等の数値は令和6年10月31日現在

第78回国民スポーツ大会総合成績について

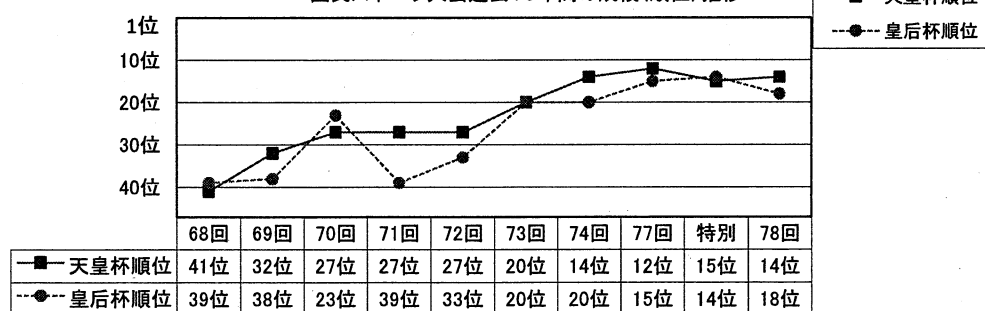
男女総合成績競技別一覧

競技順位	競 技 名	競技得点	参加点	合 計
2	ソフトテニス	70.0	10.0	80.0
4	ウエイトリフティング	82.0	10.0	92.0
6	バスケットボール	40.0	10.0	50.0
6	スポーツクライミング	54.0	10.0	64.0
6	クレー射撃	15.0	10.0	25.0
6	トライアスロン	5.0	10.0	15.0
7	バレー(ビーチ含む)	50.0	10.0	60.0
8	レスリング	37.0	10.0	47.0
8	セーリング	38.0	10.0	48.0
8	ボウリング	34.0	10.0	44.0
9	ラグビーフットボール	30.0	10.0	40.0
11	水 泳	64.0	10.0	74.0
13	ハンドボール	25.0	10.0	35.0
14	陸上競技	52.5	10.0	62.5
14	卓 球	15.0	10.0	25.0
14	馬 術	19.0	10.0	29.0
15	ス キ ー	5.0	10.0	15.0
15	ライフル射撃	16.0	10.0	26.0
16	アーチェリー	9.0	10.0	19.0
17	テ ニ ス	6.0	10.0	16.0
17	体 操	25.0	10.0	35.0
17	自 転 車	25.0	10.0	35.0
18	ローイング	15.0	10.0	25.0
21	スケート	18.0	10.0	28.0
21	カ ヌ ー	28.0	10.0	38.0
23	弓 道	12.0	10.0	22.0
29	空 手 道	2.5	10.0	12.5
小計	27競技	792.0	270.0	1062.0
	他 13競技	0	130.0	130.0
	40競技	792.0	400.0	1192.0

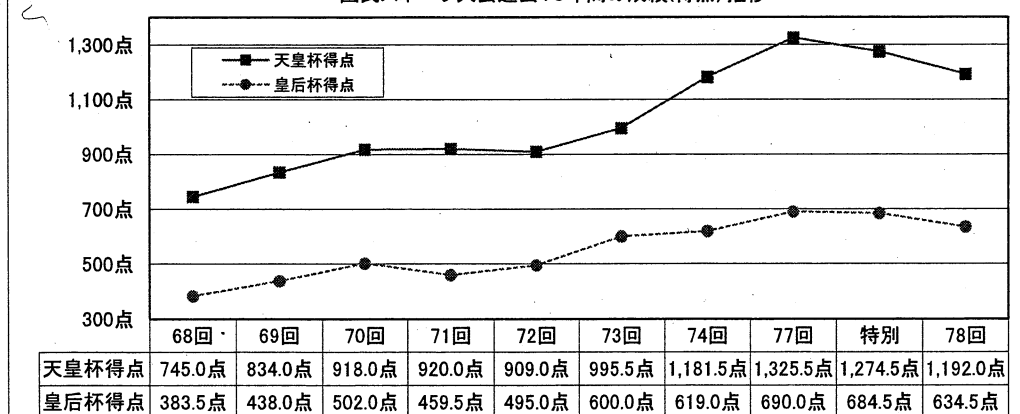
女子総合成績競技別一覧

競技順位	競 技 名	競技得点	参加点	合 計
3	ウエイトリフティング	19.0	10.0	29.0
3	ラグビーフットボール	30.0	10.0	40.0
4	ボ ウ リ ン グ	34.0	10.0	44.0
5	レ ス リ ン グ	5.5	10.0	15.5
5	ソフトテニス	30.0	10.0	40.0
7	ハンドボール	25.0	10.0	35.0
7	トライアスロン	1.0	10.0	11.0
9	アーチェリー	9.0	10.0	19.0
10	水 泳	37.5	10.0	47.5
10	スポーツクライミング	15.0	10.0	25.0
11	ス キ ー	5.0	10.0	15.0
12	バレー(ビーチ含む)	15.0	10.0	25.0
12	空 手 道	2.5	10.0	12.5
14	ローイング	15.0	10.0	25.0
14	体 操	10.0	10.0	20.0
18	弓 道	3.0	10.0	13.0
18	セーリング	4.0	10.0	14.0
19	自 転 車	4.0	10.0	14.0
20	馬 術	3.0	10.0	13.0
21	陸上競技	18.0	10.0	28.0
24	カ ヌ ー	9.0	10.0	19.0
小計	21競技	294.5	210.0	504.5
	他 13競技	0	130.0	130.0
	34競技	294.5	340.0	634.5

国民スポーツ大会過去10年間の成績(順位)推移



国民スポーツ大会過去10年間の成績(得点)推移



第78回国民スポーツ大会三重県選手団入賞一覧

団体種目

順位	競技名	種別	得点
1	バスケットボール	成年男子（全三重）	40 点
	セーリング （420級）	少年男子（津工業高校）	24 点
2	バレーボール （6人制）	成年男子（ヴィアティン三重）	35 点
	スポーツクライミング （ボルダール）	成年男子（全三重）	21 点
	ボウリング	少年女子（全三重）	21 点
3	ラグビーフットボール	女子（PEARLS）	30 点
	ソフトテニス	少年女子（三重高校）	30 点
	スポーツクライミング （ボルダール）	少年男子（全三重）	18 点
4	ローイング （ダブルスカル）	成年女子（全三重）	15 点
	スポーツクライミング （リード）	成年女子（全三重）	15 点
	クレール射撃 （スキート）	全三重	15 点
	バレーボール （ビーチバレーボール）	少年女子（全三重）	15 点
	ソフトテニス	少年男子（三重高校）	25 点
5	ハンドボール	成年女子（三重バレーボール）	12.5 点
	卓球	成年男子（全三重）	7.5 点
	水球 （水球）	少年男子（四日市中央工業高校）	12.5 点
	ハンドボール	少年女子（四日市商業高校）	12.5 点
	卓球	少年男子（白子高校）	7.5 点
6	ソフトテニス	成年男子（全三重）	15 点
	弓道 （近代的）	成年男子（全三重）	9 点
	アーチェリー	成年女子（全三重）	9 点
	体操 （新体操）	少年男子（全三重）	15 点
7	水球 （水球）	女子（全三重）	7.5 点
	自転車競技 （4km・チームパシュート）	男子（全三重）	6 点
	水泳 （アーティスティックスイミング）	少年女子（全三重）	6 点
	テニス	少年男子（四日市工業高校）	6 点
	体操競技 （体操競技）	少年女子（全三重）	10 点
8	自転車競技 （チームスプリント）	成年男子（全三重）	3 点
	ボウリング （2人チーム戦）	成年女子（全三重）	3 点
	弓道 （近代的）	少年女子（全三重）	3 点

団体種目得点合計 449 点

	R 5	R 6
入賞件数	109 件	106 件
団体	26 件	30 件
個人	83 件	76 件

個人種目

順位	競技名	種別	種目	氏名	所 属 ＜ふるさと登録＞	得点
1	レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル67kg級	成國 大志	MTX GOLDKIDS 《いなべ総合学園高校》	8 点
	カヌー (スラローム)	成年男子	カナディアンシングル25メートル	齋藤 彰太	(公財)三重県スポーツ協会	8 点
	スケート (スビート)	成年男子	500m	森本 拓也	(公財)三重県スポーツ協会	8 点
2	陸上競技	成少男子共通	4×100mリレー	上山 紘輝 林 哉太 栗飯原圭吾 泉 裕人	住友電工《宇治山田商業高校》 ノジマT&FC《四日市工業高校》 四日市工業高校 伊勢高校	7 点
	陸上競技	少年女子B	円盤投	小川 莉緒	稲生高校	7 点
	水泳(競泳)	成年男子	バタフライ100m	阪本 祐也	(公財)三重県スポーツ協会 《三重高校》	7 点
	水泳(競泳)	成年女子	バタフライ100m	廣下 菜月	中京大学 《尾鷲高校》	7 点
	水泳(競泳)	少年女子B	バタフライ100m	奥田 真由	津市立西橋内中学校	7 点
	ウエイトリフティング	成年男子	89kg級クリーン&ジャーク	柳川 友章	㈱エルテックス	7 点
	ウエイトリフティング	女子	71kg級スナッチ	石井 未来	いちご㈱ 《亀山高校》	7 点
	カヌー (スラローム)	成年男子	カナディアンシングル15メートル	齋藤 彰太	(公財)三重県スポーツ協会	7 点
3	陸上競技	成年男子	110mハードル	藤井 亮汰	(公財)三重県スポーツ協会	6 点
	陸上競技	少年女子A	砲丸投	世古 櫻紗	松阪商業高校	6 点
	レスリング	成年男子	フリースタイル57kg級	古瀬 稜	専修大学 《いなべ総合学園高校》	5.5 点
	レスリング	女子	フリースタイル53kg級	森川 晴風	至学館大学 《津市立一志中学校》	5.5 点
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル60kg級	佐藤 聖優	いなべ総合学園高校	5.5 点
	ウエイトリフティング	成年男子	61kg級スナッチ	松田 魁利	東京国際大学 《亀山高校》	6 点
	ウエイトリフティング	成年男子	67kg級スナッチ	坂 典泰	石薬師高校	6 点
	ウエイトリフティング	成年男子	67kg級クリーン&ジャーク	坂 典泰	石薬師高校	6 点
	ウエイトリフティング	成年男子	+109kg級クリーン&ジャーク	横山太偉雅	㈱日商	6 点
	ウエイトリフティング	女子	59kg級クリーン&ジャーク	山本 真鼓	鈴鹿大学	6 点
	ウエイトリフティング	少年男子	81kg級スナッチ	田島 宗	四日市中央工業高校	6 点
	ウエイトリフティング	少年男子	81kg級クリーン&ジャーク	田島 宗	四日市中央工業高校	6 点
	自転車競技	男子A	個人ロードレース	山本 元喜	(公財)三重県スポーツ協会 キナンレーシングチーム	6 点
	自転車競技	男子A	スプリント	伊澤 将也	(公財)三重県スポーツ協会 Ciel Bleu 鹿屋	6 点
	馬術	成年男子	ダービー	中村 勇	北勢ライディングファーム	6 点
	ライフル射撃	成年男子	CFP30	水越 貴之	三重県警察津南警察署	6 点
	ライフル射撃	少年男子	BR60J	松本 晃佑	久居高校	6 点

個人種目

順位	競技名	種別	種目	氏名	所 属 ＜ふるさと登録＞	得点
4	陸上競技	成年男子	800m	源 裕貴	NTN(株)	5 点
	陸上競技	少年男子B	110mハードル	鎌倉 舞飛	近畿大学工業高等専門学校	5 点
	陸上競技	少年女子B	100m	林 捺愛	伊勢市立小俣中学校	5 点
	セーリング	成年男子	ILCA7級	黒田 浩渡	ナブテスコ(株)	5 点
	セーリング	少年男子	ILCA6級	奥田 涼雅	津工業高校	5 点
	ウエイトリフティング	成年男子	61kg級クリーン&ジャーク	松田 魁利	東京国際大学 《亀山高校》	5 点
	ウエイトリフティング	成年男子	89kg級スナッチ	柳川 友章	(株)エルテックス	5 点
	ウエイトリフティング	成年男子	+109kg級スナッチ	横山太偉雅	(株)日商	5 点
	ウエイトリフティング	女子	71kg級クリーン&ジャーク	石井 未来	いちご(株) 《亀山高校》	5 点
	馬術	成年男子	国体総合馬術	中村 勇	北勢ライディングファーム	5 点
	馬術	少年	標準障害飛越	真川 葵衣	高田高校	5 点
	ボウリング	成年女子	個人戦	入江菜々美	(公財)三重県スポーツ協会	5 点
	ボウリング	少年女子	個人戦	森川 好葉	鈴鹿工業高等専門学校	5 点
	スケート (スピード)	成年男子	500m	辻本 一史	(公財)三重県スポーツ協会	5 点
	スケート (スピード)	成年男子	1000m	辻本 一史	(公財)三重県スポーツ協会	5 点
	スキ (ジャイアントスラローム)	成年女子B		中澤 真緒	(公財)三重県スポーツ協会	5 点
5	陸上競技	成年男子	砲丸投	村上 輝	日本体育施設 《南伊勢高校度会校舎》	4 点
	水泳(競泳)	成年男子	自由形400m	山本 大地	中京大学 《尾鷲高校》	4 点
	水泳(競泳)	成年女子	自由形50m	廣下 菜月	中京大学 《尾鷲高校》	4 点
	水泳(飛込)	少年女子	高飛込	伊坂 奏音	鈴鹿高校	4 点
	レスリング	成年男子	フリースタイル86kg級	神谷龍之介	日本体育大学 《いなべ総合学園高校》	2.5 点
	レスリング	少年男子	フリースタイル71kg級	神谷 樹生	いなべ総合学園高校	2.5 点
	レスリング	少年男子	フリースタイル80kg級	山崎 魁良	いなべ総合学園高校	2.5 点
	レスリング	少年男子	フリースタイル92kg級	伊藤 獅武	いなべ総合学園高校	2.5 点
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル51kg級	白石 ルカス 清	朝明高校	2.5 点
	セーリング	成年女子	ILCA6級	河原 由佳	共栄火災海上保険(株)	4 点
	ウエイトリフティング	少年男子	61kg級クリーン&ジャーク	眞崎 響	石薬師高校	4 点
	自転車競技	女子	個人ロードレース	金子 広美	イナメ信濃山形	4 点
	カヌー (スラローム)	成年女子	カヤックシングル500m	山本 結花	三浜紙器(株)	4 点
	カヌー (スラローム)	成年男子	カヤックシングル15ゲート	森田 涼太	四日市市役所	4 点
	空手道	成年女子	組手個人	舟田理々花	帝京大学 《四日市商業高校》	2.5 点
	トライアスロン	成年男子		前田 凌輔	(公財)三重県スポーツ協会	4 点

個人種目

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属 〈ふるさと登録〉	得点
6	陸上競技	少年男子A	300mハートル	中西 輝貴	三重高校	3 点
	カヌー (スラローム)	成年女子	カヤックシングル200m	山本 結花	三浜紙器(株)	3 点
	ライフル射撃	MIX少年	BRMixJ	松本 晃佑 小宮 明里	久居高校	3 点
7	陸上競技	成年男子	やり投	中村 竜成	国士舘大学 《伊勢工業高校》	2 点
	陸上競技	少年男子A	やり投	松月 秀斗	伊勢学園高校	2 点
	水泳 (競泳)	成年男子	自由形50m	石黒 智基	津田スイミングスクール桑名校	2 点
	水泳 (飛込)	少年女子	飛板飛込	伊坂 奏音	鈴鹿高校	2 点
	馬術	成年女子	ダート	中村 洋子	北勢ライディングファーム	2 点
	カヌー (スラローム)	成年女子	カヤックシングル25メートル	藤井 南帆	(医) 峰和会鈴鹿回生病院	2 点
8	陸上競技	少年男子共通	走高跳	井川 稜斗	近畿大学工業高等専門学校	0.5 点
	水泳 (競泳)	成年男子	個人メドレー200m	加藤 涼	明治大学 《松阪市立殿町中学校》	1 点
	ウェイトリフティング	女子	59kg級スナッチ	山本 真鼓	鈴鹿大学	1 点
	ウェイトリフティング	少年男子	73kg級クリーン&ジャーク	真弓 奏汰	亀山高校	1 点
	馬術	成年女子	二段階障害飛越	中村 洋子	北勢ライディングファーム	1 点
	ライフル射撃	成年男子	AR60	池邊 龍平	(株)ミエデン	1 点
	トライアスロン	成年女子		栢田日菜果	トライアスロンクラブアルファ	1 点

個人種目得点計 343.0

競技得点 (団体・個人) 計 792.0

参加得点 400.0

天皇杯得点 1192.0

三重県競技力向上対策本部 第21回競技力向上対策委員会概要

令和6年3月21日(木)

プラザ洞津 高砂の間

1 協議事項 令和6年度競技力向上に係る取組等について

・四日市市では、女子ラグビーチーム、男子バスケットボールチーム、体操クラブなどが支援をしていただき、活動しているチームがたくさんある。女子ラグビーチームからは、2022年のワールドカップニュージーランドで8人の日本代表選手が選出されている。その際に、パブリックビューイングという形で応援させていただき、チームを応援しているという土壌も出来上がってきている。体操クラブにおいては、今年の世界体操選手権男子団体の金メダル、アジア大会の女子平均台で初の金メダル、男子団体の銀メダルということで、期待をしているところであり、今後のオリンピックにもつながっていくのではないかと考えている。

また、このようなトップアスリート選手が、地域の小学生たちに熱心に教えており、地域との関わりも多い。大会を四日市市で開いていただくことで、四日市市、および三重をPRすることが出来ている。観光という面では、四日市市は少し弱い部分があるため、そういったところで相乗効果をねらいたい。

・三重県を卒業した選手が戻ってくるという好循環が出来てきている。自分たちのクラブで育った選手が日本代表に選出され活躍している。このような選手をもう一度三重県に戻したいと考えた時に、トップアスリート就職支援事業やスポーツ指導員の配置であるなど、当然自分たちでも求人を出したりしているが、プラスして三重県からも支援をいただくと子どもたちの活力になるのかなと思う。支援事業を狭めていくのではなく、より広げていくような活動をしていただけるとありがたい。

・学業との両立、社会人と選手の両立が難しい問題であり、環境がそろわずに競技を引退するケースもある。そのような中で三重県の就職支援は、競技に専念できるだけでなく、引退後の雇用継続という面でも、安心して競技を続けることが出来る。雇用の安定化が競技力向上に直結する部分であるため、引き続き支援をお願いしたい。

・高等学校運動部について、学校の魅力づくりは重要な役割になる。中学生が進路を選択する際に、その学校でどのような部活動が行われているか、自身の成長にどのようにつながるのかを知ることができる貴重なものになっている。昨今、

少子化も進んできており、各学校が特色ある魅力ある学校づくりを進めていく中で、高等学校運動部を強化していくことは大きな役割をもっているのかと感じている。

・鹿児島国体の15位という順位は関係者が頑張られた成果である。10位台前半にとどまったのはかなり大きく、みなさまの頑張りの成果だと考える。チームみえトップ指導者養成事業においては、指導者の横の繋がりができるなど、重要な事業になっている。立ち上げ当初から参加している指導者たちも、今後も指導者としての学びを継続するとともに、次世代の育成にも携わりたいという意思もあると聞いている。学習効果や波及効果があるという事業なんだと感じている。これからもますます指導者養成に力を入れていただき、大事にして欲しい。

・弊社では、陸上競技がクラブチームとなっており、愛知県でも各種スポーツを支援している。小中学校にスクールという形で出向いていき、地域との交流を深めるなど、スポーツの裾野を広げている。一人一人の成長に繋がるような支援を目指しており、今後も引き続き支援をしていきたい。

2 審議事項 令和6年度競技力向上対策事業について

・パラリンピック等強化指定のS、A指定について、同じ顔ぶればかりでなく、他の選手も支援していただき、競技者が少ないところも支援していただきたい。

・少年女子監督として、競技力向上対策委員として参加させていただいているので、少年女子としても結果を出さないといけないと感じている。既に東海ブロックに向けて強化を進めており、少年と成年が一緒になって、強化等を出来れば選手たちにとっても、将来を考える上で重要になってくると考えている。

・中体連としては、国スポ等で活躍する場面は少ないと思っているが、子どもたちがスポーツと関わる場面も少なくなっている。中学生がスポーツに親しむ機会を中体連としてもなんとか増やしていきたいと考えている。

・中学校の部活動地域移行について、これまでのように教員が導くことが難しくなっているおり、国も県も市も動いている状況である。今年度に部活動ガイドラインを定めており、各市町の協議会の方で方針等が出来あがっている。部活動指導員の増員など、徐々にスポーツが出来る環境を作っていきたいと考えている。

・開催県は数年間順位を維持しているが、三重県も今後が正念場になる。個人的には指導者の養成が重要になってくる。部活動の地域移行について、学校の先生の負担軽減だけでなく、競技力の向上につなげていかなければならない。医・科学について、歯科医師会でもマウスガードの作成ができる人材の育成などを行っている。コンタクトスポーツなど、怪我防止のためにも普及を広げていきたい。三重県のアスレティックトレーナー、スポーツドクターなどの有資格者を有効に活用していただければと思う。

・社会人のクラブチームは、選手の獲得及び活動に際しどうしても仕事と競技の両立という問題に直面する。そのため選手個人にかかる負担は大きく、また選手の社会人としてのキャリア形成の観点からも安定した職場の提供は非常に重要であると考えている。そういった中、三重県のクラブチームにおいては、県のアスジョブ制度が非常に心強く、また強化に直結しており、選手にとっても競技引退後の職場が確保されている状況は非常に安心できるものとして、評価は高いものと思っている。

また、アスジョブ制度の取組は、強豪大学の指導者からの信頼・評価も高く事実主力の選手としてアスジョブ制度利用の選手が本年も活躍をしている。

今後も是非、県内に定着しつつあるアスジョブ制度の引き続きの継続・維持をお願いしたいと思っている。

協議事項

令和 8 年度までの競技力向上に係る取組等について

パラアスリートの強化について

参考資料

三重県競技力向上対策委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、三重県競技力向上対策本部規約第11条の規定に基づき、三重県競技力向上対策委員会（以下「委員会」という。）の組織および運営に必要な事項を定める。

(業務)

第2条 委員会は、本部会議から付託および委任された専門的な事項について、調査・審議する。

(役員)

第3条 委員会に次の役員を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 副委員長 若干名

2 役員は、本部長が委嘱する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(委員)

第4条 委員は、次の各号に掲げる者のうちから本部長が委嘱した委員をもって構成する。

(1) 県関係者

(2) 市町関係者

(3) 産業・経済関係者

(4) 学校・スポーツ団体関係者

(5) 学識経験者

(6) その他本部長が特に必要と認める者

(委員の任期)

第5条 委員及び役員の任期は、本会の目的が達成された日までとする。ただし、委員が就任時の所属機関及び団体等の役職を離れた場合、その委員は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開会できない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員長が必要と認めるときは、委員以外に専門的知識を有する者の出席を求め、必要に応じて専門委員会を開催し、意見を聞くことができる。

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が本部長の承認を得て別に定める。

附 則

この規程は、平成25年5月29日から施行する。

